

2021年5月10日

日本共産党岐阜県委員会 松岡 清

日本共産党岐阜県会議員 中川 裕子

日本共産党地方議員団

## 新型コロナウイルス禍における女性への支援を求める要望書

県政運営への日頃のご努力に心から敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症拡大が多くの女性たちを直撃しています。経済情勢の悪化や日常生活の激変による矛盾が女性に集中しています。女性の自殺者や虐待の急増、生理の貧困など暮らしと命を守る対策は一刻の猶予もできません。

つきましては以下の対策について要望いたしますので、ご検討ください。

- 1、外出自粛や雇用不安により DV や虐待など、女性が被害を受けている実態が浮き彫りになっています。また、コロナ禍が家事や育児、介護が女性に集中する状況で、のしかかり、拍車をかけ、命を絶つような事態にまでなっていることは放置できません。そのため対策が求められています。
  - ①相談員の拡充など相談体制や関係機関との連携の強化、シェルターの整備などを講じてください。
  - ②虐待や性被害・性暴力を防止する県民への研修や被害者への支援を強めてください。
  - ③接待を伴うお店が多い繁華街や大型スーパーなどでの周知やブースの設置、シングルマザーなどが取り組むイベントへ相談員が出向き、気軽に相談できるような工夫をお願いします。
  
- 2、コロナ禍で生活が困窮し、「生理の貧困」状態にある女性に、健康で衛生的な生活を保障するために生理用品の提供してください。
  - ①県立学校・特別支援学校、市町村立学校、私立学校の女子トイレに返却不要の生理用品を常備してください。
  - ②生理など心や体の悩みを気兼ねすることなく相談できる環境を整備してください。
  - ③社会福祉協議会、市町村、NPO 法人、福祉施設等を通じ学生を含む必要としている方々に、生理用品の無償提供ができる仕組みを作ってください。
  - ④災害時用備蓄品として保有している生理用品も、入れ替え時期に合わせて、品質を確認し、活用できる方策を検討してください。
  - ⑤生理用品を公共施設のトイレにしっかり常備し、自由に持ち帰ることができる仕組みを検討してください。

以上